



平成29年度広島県立世羅高等学校同窓会総会開催
平成29年7月8日 於世羅町甲山農村環境改善センター



発行
広島県立世羅高等学校
同窓会
世羅郡世羅町本郷870番地



ご挨拶
(広報20号発刊に寄せて)



同窓会会長 松浦邦夫
(昭45年卒)

世羅高等学校同窓会会員の皆様におかれましてはますますご健勝で、ご活躍のことと拝察いたします。また、平素から同窓会事業の運営につきましては、ご理解ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、世羅台地に花の季節がやって来りました。二月二十八日、同窓会入会式が行われ、平成二十九年度の卒業生が新会員として加わりました。新メンバーの加入により同窓会がますます発展していくものと心強く感じております。その一方で、同窓会の活動基盤となる「会員名簿の整備」が最大の課題であります。このため、今年度において十二年ぶりに「同窓会名簿」の発刊を行うことにしました。

現在、多くの会員の所在が不明で、特に広島支部、名古屋支部など六支部が活動休止になるなど、活動そのものが継続困難な危機的状況にあります。名簿発刊に係る調査においては、会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

ところで、本年五月には情報伝達手段として、同窓会独自のホームページも開設いたしました。皆様方の様々な情報をいただきながら、全国の同窓生へ有意な情報をお届けしたいと思っております。会員の皆様も、ホームページやフェイスブックを介した情報交換を通じて同窓会活動にご参加ください。

母校世羅高等学校は、今年九月に学校創立百二十二年目を迎えます。全国同窓生の皆様の関心事は、母校の生徒たちの活躍ぶりにあります。今年も、在校生の頑張りや同窓会のホットな情報を心待ちにしたいと思っております。

同窓会としましては、役員一同が心を一つに、母校及び同窓会の充実発展に努めて参りたいと考えております。皆様の、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



『世羅高に赴任して』



学校長 中川 実

本年度の人事異動で学校長として着任いたしました中川 実と申します。宜しくお願ひします。

同窓会の皆様には、平素より本校教育の充実・発展のために、ご支援・ご協力をいただきありがとうございますことに對して、深く感謝申し上げます。

明治二十九年に千葉三郎氏により私塾甲西会として創立されて以来、百二十有余年の歴史と伝統を誇り、地域の皆様に支えられ、期待される学校の校長としての責任の重さを痛感しております。

平成二十七年の全国高等学校駅伝競走大会男女ダブル優勝、平成二十八年の生活福祉科の全国コンクール文部科学大臣賞受賞、農業経営科の「せら梨や世羅茶のブランドを守るプロジェクト」等、生徒たちは本校が目指す「志ある模範的生徒」へと、着実に歩みを進めてくれているように感じます。着任した日に私は、教職員に對

して、私を含め、この学校に勤務する職員が、「もっとこの学校の将来を見たい」「もっと、生徒の大きく育つ姿を見続けたい、見届けたい」と思える学校にしたい。

そして、生徒には「世羅高校に来て良かった」また、中学生からは「世羅高校に〇〇をしに行きたい」と言わせられる学校にしたいと話しました。

また、入学式では、「文武不岐」とは、「武なき文、文なき武は共に真実の文ではなく、武にもあらず」と解き、これからの三年間で、自らを律し、他者とのコミユニケーションを図りながら主体的に行動し、地域社会や国際社会に貢献する「生きる力」にみちあふれた生徒となつてほしいと伝えました。

また、在校生には、先輩諸氏や地域の皆様が築いてこられたこれらの歴史や伝統の上で安堵することなく、更なる高みへと発展させてほしいと話しました。

本年度からは、広島県教育委員会が進める「学びの変革」の全県展開が始まります。

同窓生の皆様におかれましては、今後とも本校の教育活動に對して、変わらぬご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

『世羅に感謝』



前学校長 堀 健太郎

同窓会の皆様には、平素から本校教育活動に多大なるご理解とご支援を賜り、心からお礼申し上げます。

三年前校長赴任時の挨拶文の一部を紹介します。

「私は世羅高に對する熱い思いがあります。県中学校駅伝で区間賞を取り準優勝しました。同じ年世羅高校は、全国高校駅伝において高校新記録で四度目の優勝を飾りましたが私は他高校に進学しました。大学以降も長距離を続けましたが「世羅高校で全国高校駅伝を走ったかった」という思いは消えませんでした。

それから三十二年、五度目の優勝メンバーに長男が、そして長女も都大路を三度走り、私の思いを叶えてくれました。その高校に校長として赴任させていただいたことは運命さえ感じます。

今年の目標は三つあります。

一つ目は、本校教育内容を地域の中学校に理解していただき、3学科とも入学希望者を定員以上にすること。

二つ目は、進路希望一〇〇％達成。

三つ目は、全ての部活動を活発に実施するとともに、全国高校駅伝男子二連覇及び女子初入賞とし、本校で学ぶ生徒たちが、これからの歴史を刻み、学校・同窓会・地域を支えてくれるものと信じています。同窓会の皆様には、本校に引き続き温かいご支援とご厚情を賜りますようお願い申し上げます。挨拶とします。」

という内容でした。

その間、全国高校駅伝競走大会男女優勝をはじめ学校創立百二十周年記念事業など多くのすばらしい出来事を体験させていただきました。世羅高校を最後に退職することが叶い達成感と充実感で満ち溢れています。

同窓生の皆様におかれましては今後とも本校の更なる発展のためにご支援・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願ひいたします。



平成29年度世羅高等学校

同窓会総会・懇親会 次第

とき：平成29年7月8日(土)11時～
ところ：甲山農村環境改善センター
司会 当番幹事 川本八千代(昭50年卒)

第1部 総会 (11:00～11:40)

- 1 黙祷(世羅高等学校卒業生物故会員)
2 校歌斉唱
3 旧制世羅中学校旧制甲山高等女学校(一)
世羅高等学校(世羅高等学校吹奏楽部演奏)
同窓会長あいさつ
4 会長 松浦 邦夫(昭45年卒)
前同窓会長あいさつ
5 小島 敏文様
6 校長 あいさつ 堀 健太郎様
7 来賓あいさつ 世羅町長 奥田 正和様
8 来賓紹介
9 新入会員代表あいさつ 金丸 奈生様
10 議長選出
11 議長 議事
12 議事
13 議事
14 議事
15 議事
16 議事
17 議事
18 議事
19 議事
20 議事

第3部 懇親会 (12:30～14:30)

- 1 開会あいさつ
2 当番幹事 幹事長 井上 公樹(昭50年卒)
3 乾杯
4 世羅高等学校東京校友会 会長 吉宮 孝治様
アトラクション 宇津戸獅子舞
5 支部活動報告
6 東京校友会 近畿同窓会
7 感謝状及び花束贈呈
8 前会長及び退任理事へ
お楽しみ抽選会
9 次年度当番幹事の紹介
10 万歳三唱 次年度当番幹事昭51年卒
11 閉会あいさつ
12 当番幹事 副幹事長 山崎 誠(昭60年卒)

平成29年度世羅高等学校同窓会事業報告

継続事業

- 1 平成29年度同窓会総会・懇親会の開催
開催日：平成29年7月8日(土)11時から
会場：甲山農村環境改善センター 参加者：231人
2 同窓会報の発行
3 今年度は第19号を総会開催時期に併せ発行
全国大会等への出場チームの応援
4 全国高校駅伝競走大会男女出場チームの応援
(平成29年12月24日)
5 各地域同窓会・校友会行事への参加
6 東京校友会総会(平成29年11月19日)
7 近畿同窓会総会(平成29年6月11日)
8 同窓会入会式の開催
9 卒業生を対象に新規会員の入会式を開催
(平成30年2月28日 入会者：112名)

平成30年度世羅高等学校同窓会一般会計予算

Table with columns: 勘定科目, 予算額, 前年度予算額, 差額, 備考. Rows include 入会金, 会費, 同窓会報広告収入, 預金利息, 前年度繰越金, 雑収入, 収入合計, 広報委員会費, 事業委員会費, 名簿委員会費, 総務委員会費, 小計, 通信費, 交際費, 人件費, 需用費, 備品費, 施設使用料, 旅費, 小計, 支出合計, 予備費, 来年度繰越金.

平成30年度同窓会基金予算

Table with columns: 勘定科目, 予算額, 前年度予算額, 差額, 備考. Rows include 預金利息, 前年度繰越金, 収入合計, 支出合計, 当期末繰越金残高.

平成30年度世羅高等学校同窓会事業計画

継続事業

- 1 平成30年度同窓会総会・懇親会の開催
開催日：平成30年7月14日(土)11時から
会場：甲山農村環境改善センター
2 同窓会報の発行
3 リニューアル・増ページにより、6月発刊。
4 全国大会等への出場チームの応援
5 全国駅伝競走大会などへの出場に対し、同窓会としての積極的な応援。

新規事業

- 1 教育支援事業として、入学生に記念品(生徒手帳)を贈呈。
2 教育支援事業による在校生支援
3 新入学生及び卒業生への記念品(生徒手帳・卒業証書台紙等)贈呈
4 部活動での中国大会及び全国大会出場の遠征費用等の支援
5 各地域同窓会・校友会行事への参加
6 東京校友会総会、近畿同窓会総会等への出席
7 同窓会入会式の開催
8 卒業生を対象に新規会員の入会式を開催
(平成31年2月28日)
9 世羅高等学校校内(パンフレット)の印刷
10 同窓会総会配布分
11 同窓会館の日常的な維持管理及び施設点検整備等
12 同窓会館の日常的な維持管理及び施設点検整備等
13 同窓会館の日常的な維持管理及び施設点検整備等
14 同窓会館の日常的な維持管理及び施設点検整備等
15 同窓会館の日常的な維持管理及び施設点検整備等
16 同窓会館の日常的な維持管理及び施設点検整備等
17 同窓会館の日常的な維持管理及び施設点検整備等
18 同窓会館の日常的な維持管理及び施設点検整備等
19 同窓会館の日常的な維持管理及び施設点検整備等
20 同窓会館の日常的な維持管理及び施設点検整備等



『同窓会総会懇親会を終えて』



平成29年度当番幹事 井上 公樹

平成二十九年度の同窓会総会・懇親会に関わっていただきました皆さん、立派な同窓会総会懇親会にして頂き心よりお礼申し上げます。一緒に準備協力してくださった幹事の皆さんご苦勞様でした。

私に幹事長をやれと声をかけられたときは、挨拶するのも苦手だし、不安な気持ちでした。しかし、今では声をかけていただいたことを感謝しています。どちらかというと自己否定的で自虐的な生き方をしてきましたので、私でも役に立てることがあるのだと若干自信を持つことができました。ありがとうございました。私が世羅高校に在学していた1年と3年の時、陸上競技部は、全国高校駅伝大会で二度優勝しました。厳しい練習に取り組み陸上競技部は、私の生活感からはかけ離れた存在でありました。しかしながら、とても親しみのある存在でもあったのです。小さい頃、正月の箱根駅伝のラジオ放送を家族皆で聴いた思い出があります。主役は、私の叔父、井上鐵石(てつせき、現瀬戸鐵石)でした。皆さんご存知のように、叔父は、

世羅高時代に、広島県高等学校駅伝大会で一年生から三年連続1区区間賞を獲得し、また5000mの高校記録をつくった選手でもあります。私は、陸上競技部の選手の活躍に、叔父の姿を重ねて一喜一憂していたように思います。

今、私は、西大田自治センターで振興協議会の事務局長という立場で地域活動を担っています。そのため、皆さんには何かとお世話になることがあると思います。何卒ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



西大田自治センター 世代間交流「しめなわづくり」

『昭和45年卒業生同窓会の報告』



荒井 静彦(昭45年卒)

三年前の平成二十七年三月二十一日、昭和45年普通科卒業生の同窓会を三原国際ホテルで開催した。卒業生141名、逝去された人11名、参加者65名であった。

卒業後45年を経て普通科3クラス合同の同窓会は初めてなので、準備のため一年前から地元の方を中心に実行委員会を立ち上げ、その中から各クラスの責任幹事を選出した。会合は何回と重ねるも、久しぶりと懐かしさが加わり、会議を早めに切り上げて宴会へ移し熱心にチームワークづくりにも努めた。

実行委員会では、名簿作りと近況報告の整理に費やし、案内状を送った結果宛名不在で葉書が帰ってきたのは僅か各幹事の努力が報われたが、この長い歲月の中ですでに亡くなっている仲間が11名いたことは、悲しい事実でもあった。45年前の記憶が薄らいだといえ、ともに机を並べ、勉学に真面目に？取り組んでいた頃を思い出し、同窓会でお互いの健闘を称え合っていたはずと思うと尚更である。また、欠席者の中に、欠席理由を「参加したいけど所用で行かれません。」と返事をくれた旧姓Mさんには、同窓会後に記念誌と参加者のスナップ写真をCDにまとめ、「次回の同窓会は卒業50年をす



昭和45年卒業 世羅高校普通科 同窓会

んからの手紙には「45年も経つと、誰が誰なのか分からない。でもとても懐かしい。」「次回にはみんなに会いたいけれど、参加できないかも...」と結んであった。「あれ？もう欠席予告なん？」と疑問を抱き、早いうちに様子を見に行こうと思っていた矢先に悪性腫瘍でのご逝去の報を受けた。常に死と直面しながらも、懸命に生きようとされ、卒業50年同窓会での再開の約束を果たすことは叶わず、Mさんは旅立って逝ってしまっただ。

今思うと、亡くなられた私たちの恩師、周才千明先生の「どんなに自分が思うような社会でなくても常に前向きでいるように。」の言葉が思い出される同窓会でもあった。

同窓生だより

『会報編集に携わって』

大田 良晴 (昭37年卒)



会報編集に携わるようになったのは、第9号(平成十九年)からです。きつかけは創刊から尽力されてきた、伊藤、石原両先生からのお誘いがあったからです。その後、第13号(平成二十三年)からは、組織改革により広報委員会として編集・総会に併せて発行となりました。しかし、発行が繰り上がり、年度初めで多忙な担当教員、広報委員の方々にはご負担を強いることとなりました。但し、平成二十八年、創立120周年の節目に会い、記念特集号(第18号)、記念誌発行という貴重な体験ができたことは有り難いことでした。

この第20号から、新体制での発行となりました。今後とも同窓会の運営に対し、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。皆様方のお陰をもちまして任を終えることが出来、深く感謝いたします。

『人生七十古来稀なり』

堀 壽登 (昭42年卒)



私は、人生七十古来稀なりの年齢を迎えている。校門を

くぐって半世紀が過ぎた。一学年7クラス、350名、全校生徒1050名が集う学び舎であった。団塊の世代である。旧制世羅中の面影を残す、一号館、講堂、武道館が並ぶ。一、二年生の夏、高校野球広島県予選の応援に参加した。懐かしい思い出、呉二河球場である。当時の応援歌は今も歌える。「延喜の昔、大田の荘は、文化栄えし秀でた都」で始まる。

通学路は砂利道、自転車通学。圃場整備も未だされていない、のどかな田園風景である。当時どの家庭でも家業を良く手伝ったものだ。毎朝持たせてくれた母の弁当。その母も間も無く卒寿を迎える。

『現役市民ランナーなり』

上田 隆紀 (平9年卒)

同級生のみんな元気？今も、世羅町に居る同級生達と交流しているけ

れど、町外又は県外に出てるみんなどうしてるかな？さておき、自分は実家の自動車屋を継いで頑張ってる所です！私生活の中では、高校の時陸上部だった事から今も尚、市民ランナーとして日々ランニングをします！そして、いつかはフルマラソンを完走をと思いながら遂に平成三十年二月二十五日フルマラソン完走を果たしました！

この歳になって達成できた事は、これから先の自信になると思えます！しかしながら40歳、体調が著しく変わってくる年代です。皆さんも、身体に気をつけて頑張っていきましょう！終わりに、同窓会やりましょう！

『世羅高での経験を糧に』

舛崎 真透 (平16年卒)



中学から本格的に陸上競技を始め、ご縁もあり憧れで

あった世羅高校へ入学、陸上部として3年間を過ごしました。その際、寮生活での厳しさ、仲間とのコミュニケーション、3年時には主将も務めさせていたなど、大変貴重で

誇れる経験をする事ができたと感じています。また、大学卒業後も母校の陸上部コーチとして指導をする立場で、6年間貴重な経験をさせていただきました。現在では、世羅での経験を糧に、広島市南区でモンジョルノ鍼灸整骨院の院長として、学生は勿論、幅広い年齢層の患者様に来ていただき、治療を行っています。皆様も是非一度、院へもいらしてみてください。

『世羅高は人生の縮図』

児玉 利典 (昭61年卒)



私は、中学校時代野球部で、中学校3年生の春に赴任

された恩師の勧めで、陸上をはじめた。私は、世羅高校に入学する際、3つの目標をたてた。

- ①何が何でも3年間やり通す。
- ②必ず1回は全国大会に出場する。
- ③陸上、寮、高校生活を通し人間的に大きくなる。

この覚悟を持って頑張りましたが、想像以上に現実には厳しく何度も挫折しそうになりました。そうした中、

地域を挙げての応援、恩師、寮の皆さん、仲間、そして家族に支えられ目標を達成でき社会に送り出してもらいました。世羅高校には、全国のどこにもない伝統と強みがあり、これこそが、世羅高校であると確信し誇りに思っています。私の人生の中で、この3年間はなかったら今の自分になかったと思うし、まさに人生の縮図が世羅高校にはあります。どうか今後も素晴らしい伝統ある世羅高校であることを願ってやみません。



『退官直前、旧交を温める』

福場 敬和 (昭50年卒)

昭和五十年に卒業して、世羅を離れて以来、県外では京都市、大阪市、大阪府摂津市、千葉県船橋市、埼玉県ふじみ野市、名古屋市の住人となりました。どこに住んでも、出身地を問われ、「広島県の世羅です。」と答えれば、「駅伝の世羅ですか。」との返答があり、会話が弾むきっかけとなり、その度に、故郷の

自然を思い浮かべ、有難さを感じて来ました。昨年、広島西税務署長で退官しましたが、その直前に同級生の坂本(旧姓鍵谷)純正さん(広島県警総務部長)、重光省二さん(安芸消防署副署長)、大原重秋さん(広島県立図書館長)の四人でお互いの長年の労苦を慰労できたのは良い思い出となりました。

の木材を使って家を建てました。元気で失敗を恐れない人達が村興しをしていました。私は田舎で育ちましたが、彼らから見ると都市の人、今でも交流しています。

世羅が過疎化していくのは寂しい。沢山の人が世羅で暮らせるような要となるのも、世羅高の一つの役目ではないでしょうか。卒業生、在校生、地域の人々が繋がりを交流していくことで、応援、協力という絆が生まれてくると考え、ペンをとってみました。

(各人の役職は当時)

『都市と山村』

門田 容子 (昭47年卒)

世羅高では生物部に所属。比婆山での合宿、植物採集をし、夕空に舞う赤とんぼの群れに手を差し出すと指先に停まる赤とんぼ、あの体験が、自然に対しての原体験になっていました。

阪神大震災後、戦後植えた木が育ち過ぎて、山が大変な事になっていくと、友人が教えてくれました。岐阜県の90パーセントが山という山村

『卒業後の人生』

小谷 誠 (平3年卒)



私は高校時代、陸上部に在籍して京都で走ることをめざして毎日練習をしていました。残念ながらその夢をかなえることはできませんでした。卒業後は大学に進学し陸上を続けていましたが、大学3年時に腰の手術をして現役を引退しました。心残りのある選手生活でした。

現在は、地元の庄原市にてスポーツトレーナーとして活動をしています。実業団選手や地元のスポーツをしている選手の身体のケアのお手伝いをしています。故障を理由に志半

ばで選手生活をあきらめてほしくないので、短い選手生命を精一杯過ごしていただくためのケアを心がけています。これからも選手時代の経験をもとに、選手のサポートをしてまいります。

『今日まで生きてきて』

重谷 喜代美 (昭47年卒)



今日は三月十八日です。彼岸の入りです。妻、晴美と二人、ご先

祖様のお墓参りに行ってきました。墓石を見てみると、昔の人は65才ぐらいで亡くなられているんですね。私も今年、65才になります。五体満足で病気もほとんどしない立派な体に産んでくれた両親に感謝しかありません。私もいろいろありましたが、親のしていた家業の豆腐屋を継いで43年が経ちました。

26才の時、運よくすばらしい妻と結ばれました。何の取り柄もない私をしつかりリードしてくれて、本当に心の中では、「いつもありがとう」と言っています。今では娘夫婦

が三代目を継いで、真面目な婿さんと3人の孫に囲まれてもつたいない事です。これからも今日と同じように、平凡でのんびりと、モクモクと生きていこうと思っています。



『高校時代の思い出』

岸田 浩二(昭53年卒)

私の高校時代の思い出はカープ優勝です。

高一の秋、万年Bクラスのカープは赤ヘル旋風の波に乗り優勝争いをしていました。友人が授業中に学生服の内ポケットにラジオを忍ばせ、袖からイヤホンを通して中継を聞いていました。担任の小松先生に見つかりカミナリかと思いきや、そのまま全員で中継を聞いたのも良き時代の思い出です。

優勝の決まる日は、クラブ活動もほどほどに帰宅。巨人戦を手に汗に行つて観戦。ホプキンスのホームランで勝利を確信し、初優勝後の山本浩二の号泣シーンは今でも心に焼き

付いています。あれから約40年。近年、マツダスタジアムでのカープ観戦を兼ねた同窓会をしています。カープ人気は往年のファンにとつてうれしい悲鳴です。

もう一つの思い出はクラブ活動です。所属は男子バスケットボール部。弱小で県大会が大きな目標でした。カープから、やればできるという確信をいただき、丁度5人の同級生で県大会出場を目指しました。そして、高2の秋に念願の初出場、高3の春には初勝利を挙げることが出来ました。その後、世羅のバスケットは良き指導者に恵まれて、ミニバスケットからOBのクラブチームまで広き世代に渡る歴史を作ることになりました。

大学卒業後、地元に戻り就職。結婚し3人の子どもにも恵まれました。カープの結果に一喜一憂し、年末高校駅伝での世羅高の活躍に胸を躍らせ、もうすぐ還暦を迎えます。

宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」では、主人公が旅する中で、本当の幸に意味を求めていきます。残りの人生を「ほんとうの幸い」を見い出していける日々でありたいと願う今日この頃です。

『また来年も元気で!!』

森宗 有香(昭58年卒)

世羅高校同窓会総会が当番幹事のお世話により、現在の運営方法となつて今年で8年目を迎えました。

毎年紆余曲折の中、準備の段階からご尽力くださいます方々には大変お世話になり、感謝申し上げます。

200人を超える幅広い年代が集い、会員相互の親睦を図り、再会の喜びを味わえる。同級生に対しては、“ちゃん”づけで名前を呼び合い、多少外見は変わつていても、まるで高校時代にタイムスリップしたかのよう

に時間が戻ります。「また、来年も元気でお会いしましょう。」と・・・

この光景が世羅町の初夏の風物詩となるように、そして、益々、人の輪が広がり未来へ続くように願っております。みなさま、

「また、来年も元気でお会いしましょう!!」感謝



『壁に当たるたび、』

世羅高時代を思う』

坂川 佳子(昭62年卒)

世羅高等学校を卒業したとき、三年間の学生生活を封印してしまいました。いろいろな事情から希望の大学を受験できず、大好きであった走つたため、陸上部では成果を出せず、在籍していること自体にコンプレックスを持ち、常に不慣れた人間であったと自分自身に感じていたからです。就職も自分が思い描いた小学校教員になれず、家の事情等もあつて、違う道を進むことになりましたが、就職後は考えや方向性の違い、また男女の差等でもかなり嫌な思いをしてきました。悩み。不安に苦しむことが今でも多々あります。しかし、壁に当たるたびになぜか、世羅高のことを思い出すのです。

卒業して三十年以上たちましたが、振り返ってみると、今を歩み、信念を持つて進んでいける原点は、結局この3年間があつたからではないかと感じています。



**第68回(男子)第29回(女子)
全国高等学校駅伝競走大会報告
女子9位 男子20位 入賞ならず!**

「日本一奪還!」を合い言葉に臨んだ都大路であった。

平成29年12月24日(日)、京都市西京極陸上競技場において、男子第68回、女子第29回全国高等学校駅伝競走大会が開催され、男子7区間(42.195km)、女子5区間(21.0975km)を擧で繋ぎました。結果は、男子は2時間8分01秒の20位、女子は1時間9分26秒の9位でした。

レースを振り返りますと、男女ともに中心選手を故障で欠き、苦しいレース展開になりました。

女子については1区相原が自信に満ちた走り、予想を大きく上回る順位で1区を走りレースの流れを引き寄せたに思いましたが2区で順位を下げる結果になり、上位での流れを失ってしまいました。後半の選手が持ち味を発揮できたことを思うと2区での後退は惜しまれます。

男子は1区梶山がまずまずのすべり出しでしたが2区、3区と順位を大きく下げた上、上位争いをするレース運びが出来ませんでした。

大会に臨む選手の心技体が万全でなければ日本一の壁が厚いことを思い知らされた大会でもありました。



1区10位、相原 美咲選手



1区11位、梶山 林太郎選手

しかし、「TOP RUN SE RA」を標榜する世羅高校がこれだけのいいのかという思いが強くなります。幸い、今大会は1・2年生中心のチームです。この悔しさを糧に、「今年こそは…」の雪辱の思いで練

習に励みたいと思います。
(陸上競技部監督 岩本 真弥)

**「TD校との姉妹校交流」
—NPO法人
世羅国際交流教育ネットワークと
地域に支えられて—**

世羅高校は平成22年1月にアメリカ合衆国ニューヨーク州にあるソントン・ドノヴァン校(TD校)と姉妹校協定を締結しました。世界平和、地球環境を共通のテーマとして、相互に留学生を派遣し生徒同士が交流を深めることを目的として、平成22年3月から交流を始めました。その交流も相互に9回を数えています。その活動を支える為にNPO法人世羅国際交流教育ネットワーク(会長 上野 悟)が創設されました。

この組織は、世羅高校のみならず町内の幼・小・中学校も含め世羅町上げて地域全体の国際交流の推進の支援等を目標とされています。地域の有志の方が会員となつてこの組織に世羅高校とTD校の交流は支えられています。

県内のほとんどの高等学校は姉妹校を持っていますが、毎年相互に生徒の短期留学を続けている学校はなかなかありません。生徒の派遣からTD校が来日した際のホームステイ

先へのサポート、小中学校交流への送迎、留学生研修への引率と、世羅高校だけでなく地域の小中学校を含めた交流を支えていただいています。また、地域の企業・農園の皆様にも留学生の研修の場を提供していた



自由の女神をバックに～本校の留学生たち

だいており、まさに地域一丸となつた交流となっております。平成30年は、3月に本校の留学生10名がTD校へ15日間短期留学しました。

生徒たちは、「日本(世羅)の高校生と米国(TD校)の高校生の学校や学習に対しての意識を比較する」という課題をもって臨みました。その成果は、4月26日の成果報告会で報告されました。

6月21日～7月3日には10名のTD校生徒・保護者等が世羅高校を訪れます。世羅高校とともに授業を受けるだけでなく、町内の小・中学校との交流を行ったり、広島を訪れて平和に関する研修をするなど、有意義な時間となるように計画を進めています。

この交流を通じて生徒たちはともに異文化を肌で感じ、価値観の違いを受け止め、平和への思いを新たにするなど、人間的にも大きく成長することができていると感じています。

(教育研究部 岡野 真知子)

平成二十九年 卒業生進路

昨年度(平成二十九年)卒業生の最終的な進路は、四年制大学四十一名、短期大学六名、専門学校二十名(看護・医療系を含む)、就職は三十四名でした。国公立大学の合格者は全学科あわせて十一名(農業経営科1名、生活福祉科1名、普通科9名)で、普通科においては、普通科生徒のおよそ六人に一人が国公立大学へ合格したことになります。

就職に関しては、九月の就職開始時期において就職を希望する全員が一次試験で就職を決めることができ

ました。特筆すべきことは、十名以上が就職を希望する広島県内の高校において、全員が一次試験で内定を得ることができたのは世羅高校だけです。これには、二つの面からの良い成果の表れではないかと考えます。一つは企業様からの世羅高生に対する評価が年々向上していることです。世羅高生なら安心して採用できるという期待感や安心感が年々大きくなってきているということを、本校就職支援員が地元の企業を訪問して実感する場面が多々あることを述べています。二つ目は本校の生徒指導と

就職指導の一体化による成果です。

生徒へは入学時から世羅高生は、いつでも就職試験に臨むことができる態度で学校生活を送るように職員は支援しています。また就職を希望する生徒については、就職に関する会議を毎週行うことで、担任と就職支援員、進路指導部就職担当者やその他の関係者と、就職に関する情報の共有が行われています。

近年は国公立大学だけでなく、多くの私立大学もセンター試験を利用した入試を行っています。昨年度は本校からも三十名が受験しました。生徒たちは五月から始まった放課後補習や世羅塾をはじめとする夏期講習等に積極的に参加し、最後までよく頑張りました。卒業式が終わった後の国公立大学入試後期日程(三

月十二日)まで粘って頑張った生徒もいました。

今年度も、放課後補習や長期休業中の補習、世羅塾など学力を高める取組を行っています。さらに、世羅町から様々な支援をしていた、だくなかで、学力向上事業として休日を利用し、有名予備校の講師に講座を開いていただく予定となっております。希望の進路100%実現を目指し、これからも努力を続けてまいります。

(進路指導部 山根 智宏)

世羅高校 国際交流推進会議 について

世羅高校国際交流推進会議(会長小島敏文)は、ケニア共和国をはじめとする諸外国との国際交流活動を通じて、教育及びスポーツ、社会教育、文化活動等の相互交流を推進し、世羅台地を中心とする地域の活性化を目的に結成され、以来ケニア共和国からの留学生の受け入れ、台湾「大同高級中学」との交流を進めてきました。

大同高級中学との交流は、2学年の修学旅行での訪問と、毎年春に大同高級中学からの訪問という形で、相互に行っています。残念ながら今

年は大同高級中学の来日が見送られました。今年度の1月11日の2学年修学旅行団の訪問の際には、生徒たちが楽しく有意義な交流を行うことができました。

また、ケニア人留学生は、3年生に女子1名、1年生に男女各1名が在学します。彼らは陸上競技に対して、熱い情熱を持ち、生活・文化の違いで真面目に頑張っています。

その真摯な姿勢に、日本人選手が受ける影響も大きく彼らと練習を共にすることで、競技力・人間性が向上しています。彼らの日本での生活費はこの推進会議の会費から捻出されています。今後とも、この推進会議の趣旨を御理解いただき、御支援、御協力のもとよろしくお願い申し上げます。

(国際交流推進会議)



「よろしくお願ひします。」

左から、ジョン・ムアニキ君(1年)、ナオミ・ムツソーニさん(3年) テレシア・ムツソーニさん(1年)

『東京校友会の活動』

会長 吉宮 孝治 (昭42年卒)

東京校友会の会計年度は十月から翌年九月までとなっており、主な活動は、年二回の会報発行、親睦会、十一月の総会及び役員会となっております。

会報「とうきょう世羅」は、第四十六号を四月十五日に全会員に宛てて発送し、現在次号を十月七日の発行に向けて鋭意編集集中です。

親睦会は、今年に入って先ず一月に「池上七福神めぐり」を行い、一年の平安と幸福を願いました。

四月には、「小金井公園」において観桜会を催しました。今年は染井吉野の時期は過ぎていましたが、色々な桜が咲き誇り、楽しい桜見の会となりました。七月には、森永乳業東京多摩工場の見学を計画しております。(詳細は、「世羅高東京校友会」で検索してホームページをご覧ください。)

今年の総会は、十一月十八日(第三日曜日)に開催の予定です。毎年松浦同窓会長、堀校長、奥田世羅町長など世羅から多くのご来賓をお迎えしております。

また、近年、総会などへの参加者が漸減し、特に若い世代の参加者が少なくなってきたことから、将来に向けた校友会の在り方全般について、プロジェクトチームで検討を重ねておりますが、四月には、全



世羅高東京校友会 検索

員に対してアンケートを実施しました。このアンケートでお寄せ頂いた貴重なご意見を基に、会員が楽しく集える校友会にすべく今後とも真剣に検討を続けて参ります。どうか皆様には、積極的なご意見やご参加をお願いいたします。

陸上競技部への応援賛助金では、毎年多くの会員から浄財が寄せられ、母校に贈呈しておりますが、母校の活躍に対する期待の大きさを実感しているところですので、今年も引き続き募集しており、十二月には京都の西京極陸上競技場で応援できることを楽しみにしております。

『近畿同窓会活動だより』

近畿同窓会事務局長 釣井 良明 (昭42年卒)

世羅高等学校近畿同窓会は、先輩方も高齢になられ、盛衰の一途を辿っているのが現状ですが、主に近畿同窓会会員の情報交流と同窓会活動の活性化・機能拡大を図ることを目的として活動しております。

具体的には、近畿同窓会独自の活動(年4〜5回の役員・幹事会、年1回の総会)はもとより、会員の高齢先輩には陸上競技・駅伝に関連した人が多く、駅伝への支援しております。広島県関西同窓協議会への事業運営への参画・協力、広島県人会への支援・協力をしております。広島県関西同窓協議会とは、加盟する同窓会間の情報交換を行う事により、同窓会相互の交流を積極的に進め、同窓会活動の活性化を図ることを目的とする所です。

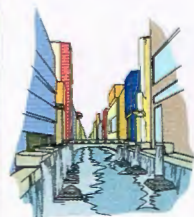
役員・幹事も唯一若いのが60歳後半という、母校に対しての同窓会活動運営(地域貢献)、並びに応援・支援が今後も維持運営出来るかどうか懸念を持っているのが現状です。近畿圏に在住の若いOBの方々の入会をお待ちしております。

此の夏には近畿同窓会のホームページを開致します。これは、東京校友会・世羅高HP・世羅同窓会(現在準備中)間でリンク出来る様に考えております。気楽にアプローチしてみてください。入会を希望される方は、サイトを設けております。高齢化された諸先輩には、出世された方が多く、母校に対して誇りをもっておられます。今はとにかく、数多くの若い方々の入会を願って、活気ある近畿同窓会を目指しております。近畿・関西に在住されている、青年の方、壮年の方、参加をお待ちしております。



広島県立世羅高等学校近畿同窓会総会

平成30年度は、6月24日に総会を開きます。



感性が光るアートな写真
残しておきたい思い出の写真

アート写真光房

世羅町本郷
TEL:0847

阿部写真館 22-0213

http://www.cameraman-abe.com/
Eメール: photoabe@orange.ocn.ne.jp

トヨタ車のことなら 指定民間車検場 スズキサービス指定工場
トヨタサービス指定工場 ボディーフレーム修正工場

アラタニオート(株)

TEL(0847)22-0279 FAX(0847)22-0977

TOCHU GROUP スズキ専門店

スズキオートSHOP

TEL(0847)22-0279 FAX(0847)22-0977

和菓子のあるところに美味しい笑顔あり

和菓子処



世羅郡世羅町小世良577 電話(0847)22-5143

出光興産株式会社販売店



芸備燃料
株式会社

代表取締役 坂東辰男

- 本社 ☎(0847)22-2121
- セルフステーション世羅バイパス ☎(0847)22-1151
- セルフステーション三原中之町 ☎(0848)63-6677
- セルフステーション東尾道 ☎(0848)56-1668
- 宮浦SS ☎(0848)67-7111
- 吉舎SS ☎(0824)43-2272
- 世羅油槽所 ☎(0847)22-1136
- 株式会社やっさ石油 ☎(0848)63-8216
- 宮浦SS ☎(0848)63-7733
- 沼田東SS ☎(0848)66-2727

民間車検場(中国運輸局指定工場)

近藤プランニング

- ダイハツスーパーピット店
- 自動車販売
- 自動車修理
- レンタカー
- ロードサービス
- 保険(東京海上日動)

Tel 0847-25-0303 Fax 0847-25-0304 〒722-1112
広島県世羅郡世羅町本郷 635-1



いつでもお電話でお気軽に

建設業

(有)坂上建設

TEL 23-0231(代)

FAX 23-0232

【夜間】23-0511

世羅町宇津戸3453-1

jtc 株式会社 **じつとく 實徳コーポレーション**

(総合警備保障事業)

TEL 0847-25-5271

〒722-1114 広島県世羅郡世羅町大字東神崎368番地21
FAX 0847-25-5272

貸切バス・タクシー・旅行業・酒類販売
世羅交通有限会社

世羅町東神崎91

- タクシー (0847) 22-5588
- 貸切バス (0847) 22-0477

花も実もある人生 真心こめて感動のお手伝い

フォトステージ 写る夢
シャルム

有限会社 田中写真館

世羅町西上原 588-7 TEL:0847-22-0806

手造りのおもてなし
法事・慶弔料理・仕出し・宴会のご予約承ります

ファミリーレストラン

タイニー

TEL(0847)22-0322

FAX(0847)22-0405

http://www.fr-tiny.co.jp/

世羅郡世羅町西上原 483-3 (甲山ショッピングモールパオ前)

進物の玉浦

☎0847-22-0157

FAX.0847-22-1567

〒722-1121
世羅郡世羅町西上原 612-2
営業時間 / AM8:00~PM7:00
年中無休



ソフトウェアとホームページ制作

野田ソフトウェア工房(株)



広島県尾道市美ノ郷町三成 54-1-202

電話/FAX 0848-48-5705

http://www.nss55.co.jp/

記念写真・証明写真・空撮
カラープリントスピード仕上げ

橋本写真館

世羅郡世羅町東神崎355-4 TEL (0847) 22-0157

http://www.hashimoto-photo.jp/ または 世羅 橋本写真館 検索

Facebookもやっています。 橋本写真館 検索

**スーパーマーケット
日谷屋**

御調店・大和店・パオ店

株式会社 もみの木畳店

世羅郡世羅町小世良380

TEL (0847) 22-1426

FAX 0847-22-1893

http://www.mominoki-tatami.com

OA 機器・オフィス/事務用品
教材/教科書・学用品 他



(株)森田尚文館

tel(0847)22-0136

fax(0847)22-3051

何なりとお気軽にご相談ください 世羅町西上原 535-1

お知らせ

『十二年ぶりに
同窓会会員名簿の発行に着手』

名簿委員会

同窓会のより一層の結びつきを強くし、学校と一体となった活動を推進すべきとの思いから、この度、十二年ぶりに同窓会会員名簿の発行に着手しました。

個人情報保護の観点から、個人情報を守りつつ同窓会活動を推進して行かなければならない難しい状況にあります。名簿は組織に係る重要な事項であり、同窓会規約でも必要最小限の記載事項が定められており、これらに基づき、名簿を作成することとしております。歴史ある世羅高等学校を守り発展させる礎のひとつとして同窓生(会)の皆様のご協力が必要です。

まずは、葉書による卒業生の確認と、名簿掲載への可否を伺うこととなります。多くの同窓会員の皆様のご支持とご協力をよろしくお願いいたします。



『同窓会ホームページを
開設します。』

広報委員会

内容を紹介します。

①「同窓会活動」

・活動報告、会計・役員等・同窓会報(1号〜20号)・沿革(旧世羅中学校時代・旧甲山高女時代・世羅高時代)懐かしい写真や記事を掲載します。

②「各地区同窓会」・東京校友会・近畿同窓会・同窓会台湾支部(台湾同窓会)の活動紹介

③Facebook「こんにちは!同窓生から皆さんへ」・活動報告(会員のトピックス)など

④「お知らせ」・現世羅高同窓会の活動を随時お知らせしてまいります。

⑤「関係リンク集」・広島県立世羅高等学校ホームページ・その他の関係リンク(協力企業・同窓生関係HP)など

6月1日、完成、UP、スタートします。

世羅高同窓会 検索

編集後記



「会報20号」をお届けします。今号は、多くの卒業生の思いを「卒業生から」と題してお届けします。今までの8ページから12ページに増やしました。紙面の都合で同窓生みなさまの満足を充たしてい

ないかと思いますが、本号を通して母校の現状や同窓会の動向などを知る上での一助になれば幸いです。記事をお寄せいただいた皆様にお礼申しあげ、母校の益々の発展と会員皆様のご健勝をお祈りいたします。(広報委員会)

広島県立世羅高等学校 平成30年度 同窓会総会



同窓会の活性化を図るため、開催方法を変更して8年目になります。昨年度は230人余のご参加をいただきましたが、今年度も多くの皆さまにご出席をいただき親睦を深めたいと考えております。同窓生の皆さん、ぜひお問い合わせの上、ご参加ください。

とき 7月14日(土) ところ 世羅町甲山農村環境改善センター (世羅町西上原123番地1 世羅町役場ヨコ)

《日程》

- 10:00~ 受付
- 11:00~ 総会
- 11:40~ 母校の活動状況報告
- 11:40~ 記念写真撮影
- 12:30~ 懇親会(2時間程度)

※事前に懇親会チケットをお求めください。

■懇親会チケットについて■

参加費《懇親会費》
男性:5,000円
女性:4,000円

記念写真希望の方
+1,000円

1. チケットは、当番幹事または各地区役員が担当します。
2. チケットの販売期間は5月16日水~7月5日木です。
※総会当日の販売はいたしません。
※やむを得ず参加が不可能になった場合には、7月2日閉会までにキャンセルできます。(購入された販売者へ問い合わせください。)